



「ロシュ・ハシャナーと新約聖書のメッセージ」

夏休みが終わり、新学期も始まってようやく子供たちが家からいなくなったかと思うと、9月(場合によっては10月)にいきなりやってくる休日が意味不明のユダヤの新年、ロシュ・ハシャナーとその十日後のヨム・キッパです。しかも年ごとにあちこち動き回るこれらの休日、ただ学校がお休みになるだけで特に教師から説明を受けることもなく、日本人の子供たちにとっては単に「ラッキー!」、ついでに親も「仕事、休んじゃえ!」という感じですが、今回はそのロシュ・ハシャナーについて、そしてこのユダヤの習慣とキリスト教との関係を紹介いたします。ちなみに、私たちがいるNY周辺(ウェストチェスター郡、CT州フェアフィールド郡)でこの両日が休みになるのは、ユダヤ人が多いからであり、ユダヤ人が少ない地域やほとんどの州では休みになりません*。

Part 1 そもそも ROSH HASHANAH, YOM KIPPUR とは

「ROSH」は「頭」、「HA-SHANAH」は「年」ですので、文字通り「年頭」、「YOM」は「日」、「KIPPUR」は「贖(あがな)い」、「贖(あがな)いの日」となります。これら二つ合わせHIGH HOLY DAYSといい、ユダヤ人たちはこれらを一年中で「最も聖なる日々」とし、両日とも仕事を休み、シナゴーク(ユダヤ人の教会)に出かけ、吹き鳴らされる角笛の音に聞き入ります。この期間、前年の罪を悔い改め、新しい年に向けて目標や誓いを立て、家族・友人とともに過ごし、互いに赦し合い、祝福し合います。地上でもう一年、生き延びられるか否かの裁定はヨム・キッパの日に神から下ると信じられているので人々は神妙にこの時期を過ごすのです。

●ロシュ・ハシャナーはユダヤ人の正月ですので、日本の正月よろしく、様々な楽しい伝統習慣があり、ハラーという三つ編のパンを焼き、葡萄酒と共に食べ、「神が甘い(良い)年をくださるように!」と縁起をかついてリンゴを蜂蜜に浸して食べます。他にも年賀状を送り合う、散髪や入浴を済ませておく、墓参りをする等々、日本と似た習慣もあります。インターネットで検索しますと写真や動画入りで彼らの様々な習慣が紹介されていますので、一度ごらんになられると雰囲気分かります。

●しかしながら、この「最も聖なる日々」の核心的な部分は何と言っても角笛/SHOFARを聞きに行くことなのです。この両日の根拠となっている旧約聖書レビ記23:24~28には「ラッパを吹き鳴らして記念せよ」とだけ命令されているのですが、伝統的に1)万物の主権者である神、2)天地創造の神の偉大な働き、3)イスラエル人の父祖アブラハムとその一人息子イサクの神への従順と献身の三つのことがらを記念します。特に3)は「アケダー(イサクの縛り)」と呼ばれ、旧約聖書/創世記22章1~19節に由来している話で以下のような内容です。

●イスラエル人の父祖アブラハムは神の約束と奇跡により、100歳の時、同じく高齢の妻サラを通じ、一人息子イサクを与えられた。しかしイサクがある年齢に達した時、神はアブラハムを試し、彼がこよなく愛

している一人子のイサクを全焼の犠(いけにえ)としてモリヤの山の上でささげよ、と命じられた。アブラハムは息子イサクを通して、子孫が「地のちり」のように増えると神から約束されていたので、どうにも矛盾に満ちた理不尽な要求であったが、神に対する信頼と従順を失わず、黙々と示された山に向かい、祭壇を築き、たきぎを積み、息子イサクをしぼり、ついに刀で息子の首を切ろうとした。しかし最後の瞬間、天使が止めに入り、天使は彼がテストに合格したこと、つまり神に対する彼の従順が証明されたことを告げた。一頭の雄羊が息子イサクの代わりに備えられ、神は、確かにアブラハムの子孫を空の星、海辺の砂のように多くすること、アブラハムの子孫を通して地の全ての国々が祝福されることを確約された。



「イサクの犠牲」レンブラント
まさに天使が止めに入り、アブラハムが刀を手から落とした瞬間が描かれている

●ユダヤ人たちは毎年この話しを辿りながら、角笛**を聞き、アブラハムとイサクの神への信頼と従順にならうものとなることを心に刻み、神の御名のためには殉教をも辞さないという決意を新たにします。しかし・・・これで丸く収まっていればいいのですが、実は昔から多くのユダヤ人にとり、「アケダー」は納得のいかない話し...ある意味、誰が聞いても理解し難い話しです...であり、様々な解釈がなされて来たのです。そもそも神自身が、トーラー(律法)の中では人間を犠牲にすることを禁止しているのに、なぜ神はこのような残酷な事をアブラハムに要求したのか??と。(裏面に続く)

※ニューヨークには全米のユダヤ人の1/3が住んでいるため、ジュー(JEW)ヨークとまで言われています。北米には現在526万ものユダヤ人がおり、イスラエルにいるユダヤ人の541万に匹敵しています。※※ 角笛 (SHOFAR) はまさにイサクの代わりにささげられた雄羊の角の象徴にもなっています。

実を結ぶ人生 ローリングヒルズ・ガバント教会 E. S. 姉

Sさんは牧師が前任地、横浜のかもい聖書教会にいた頃に初めて教会に来られ、何年か後にアメリカに来て信仰を持たれた方です。

●私の故郷は朝ドラ「花子とアン」の舞台、山梨県甲府市です。村岡花子も教鞭をとったという学校に入学し、始めて聖書に出会いました。しかし「イエス様が私たちの罪のために十字架で死んで下さった」と聞いても、「てっ! 誰か、他の悪い人のことずら!」と神様に背を向けたまま卒業しました。そんな私が再び教会に導かれたのは十数年も後のことでした。すでに結婚して子供も与えられ平穏に暮らしていた私でしたが、子育てには迷うことも多く、友人の誘いで横浜のかもい聖書教会の子育て会「オリーブの会」に通うようになりました。託児と食事がついた月に一度のこの時間は、子育てから暫し離れて自分のために聖書のお話を聞く、心癒されるひとときでした。

●表面的には幸せに見えたこの頃の私でしたが、実は、自分の

存在価値を見失っていました。出産前は広告代理店で男性と肩を並べて仕事をしていた私が、出産と同時に仕事も評価も給料も失い、名前と呼ばれることすら無くなり、傷ついていきました。夜、子供たちが眠った後ベランダから遠くの街の灯りを見ては、世の中から取り残されたような空しさを覚えて涙が出ました。そんなある日、立石先生が「社会での仕事には、あなたの代わりはいくらでもいますが、あなたのお子さんにとってあなたは、他に代わりが無い特別な存在です。神様があなたを母親として選び、任命されたのですよ。誇りを持ってしっかり取り組んで下さい。」と言われました。私は心の中を覗かれたようでドキッとしましたが、同時に母親としての自分の価値を見いだしていきました。



● その後移住したロサンゼルス日本語教会で聖書を学び、神様に背を向けた状態が「罪」であることも知りました。私はれっきとした罪人で、イエス様は私の罪のために十字架で死んで下さったと分かり、2005年に洗礼を受けて頂きました。受洗後、牧師先生から「Eさん、あなたが神様に捧げられるものは何ですか？」と聞かれ、私は迷わずこの経験をお捧げしました。今は私が子育て支援「ぶどうの木」というお遊び会で、日本を離れ子育てに奮闘している若いお母さんたちに仕える奉仕をしています。

● 約5年前に「ぶどうの木」に集われていた方が帰国後教会に通うようになり、横浜のH教会で受洗されたことを最近聞き、驚きました。横浜で私に蒔かれた種が、神様に育てられ、その先で

さらに実を結んでいたのです！神様のみわざは途切れることなく人から人へと続いて行くことを知り励まされ、主の御名を崇めています！

「あなたがたがわたしを選んだのではありません。わたしがあなたがたを選び、あなたがたを任命したのです。それは、あなたがたが行って実を結び・・・」ヨハネ15：16

● 立石先生を通して語られた言葉は、実はイエス様からの呼びかけだったと知りました。神様は、こんな私の傷ついた心すら豊かに用いて下さいます。クリスチャンになった今も試練は絶えず有りますが「まことのぶどうの木」であるイエス様に出会い実を結ぶ人生は、いつも希望と喜びで溢れています。■

(裏面からの続き) **Part 2 AKEDAH (イサクの縛り) と新約聖書の関係**

● 自分の一人子を犠牲にせよ、という理不尽な要求に対する解決は実は新約聖書のイエス・キリストのストーリーにこそあるのです。新約聖書ではイサクの縛り…アケダーは「型」(ヘブル11:19)であったと説明されています。つまりこの出来事の2000年後、神ご自身がその一人子を人間として地に遣わし、人類が犯した全ての罪を彼に負わせて人類の身代わりとし、十字架で犠牲となることを指し示す型だったと主張しているのです。アブラハムの愛する一人子イサクは神の一人子イエスの型であり、モリヤ山こそ、後のエルサレム・・・まさにイエスが十字架にかかった場所なのです！ただ一つ違う点、それは、イサクはすんでの所でいのちを失いませでしたが、イエスは手足に釘を刺し通されて人類の

犠牲となるべく、本当に死なれたということです。

● アブラハムとイサクにはテストの理由は告げられませんでした。しかし、彼らはエデンの園でのアダムとエバの不従順を覆すべく、神の理解不能な要求にさえ、神を信頼して従順を示しました。その結果、神ご自身が不条理中の不条理である「イエスの十字架を通しての人類救済計画」を実行に移されたのです。

● ロシュ・ハシヤナーの角笛の音は世界中の人々に提供された罪の赦しと神との関係回復の知らせだったのです。その十字架のメッセージを信じる人には、誰であっても、神の「いのちの書」に名を記してもらうことが許され、永遠のいのちが提供されるといふ祝福が実現するのです。あなたにも、です！■

■ **2014年 秋から冬の集会・行事予定** ■

※ 下記以外にも週の中に、入門クラス、聖書の学び会が定期的に行われています。お問い合わせください。

<p>【定例集会】 ★ 日曜礼拝 / 10:00~11:30 メッセージは託児室でモニターを通して聞く事ができます。ベビーシッターも致します。 礼拝後 グループ会 / 12:15 まで 大人、子供それぞれのクラスに分かれます ★ ハリソン火曜礼拝 / 毎月1,3,5 火曜 場所：ハリソン長老教会 ★ 祈禱会 / 水曜日 10:00~12:00</p>	<p>【各種集会】 ★ ハリソン 聖書を読む会 隔週火曜 10:00am 場所：ハリソン長老教会 ★ スタンフォード 聖書を読む会 第二第四水曜午後 1:15 場所：井上宅 ★ ハートフォード 聖書を読む会 隔週月曜午前 10:00 毎週木曜午前 場所はお問合せください</p>	<p>★ クィーンズ家庭集会 月1回土曜夜 7~9時 場所：石田宅 ★ マウントキスコ 聖書を読む会 毎週水曜 8:00pm 場所：平野宅 ★ ビジネススピール・パイブル・フェローシップ 金曜日 7:45pm 場所：教会図書室</p>
---	---	--

- **ブラックゴスペル／メンバー募集！** リハーサル開始 10/23(木)より
ハレルヤ！クワイヤがいよいよ始まります。申し込みまだ間に合いますので奮ってご参加ください。詳しくはWEBにて
- **ハリソンで火曜礼拝をスタートしました！** 10月は7日(火)、21日(火)です
毎月第1, 3, 5火曜、10:00~11:30AM 場所は→ Harrison Presbyterian Church address: 181 Harrison Ave. Harrison NY 10528
- **ウェルカム礼拝 10/26(日)、11/23(日)井上薫師特別礼拝、12/28(日) 10:00AM~11:30AM**
26日当日はリッジウェー・アライアンス教会のハッチングス広子さんのお証し、メッセージは「不安の処理法」を予定しています。
- **Dr. HIRO IZUMIの秋の健康講座 10/28(火)、11/25(火)、12:30PM~2:00PM**
生活に役立つ知恵と知識満載の講座です！ テーマ：10/28「女性の健康」、11/25「遺伝子的観点から行う健康管理」
- **秋の生活・教養講座 10/25(土)~11/15(土)、4回、毎週土曜日 9:30AM~11:30AM**
アメリカの現代文化を理解する鍵、サンクスギビングの起源、キリスト教入門その他のテーマを取り上げる予定です。
- **井上薫師をお迎えしての特別礼拝 11/23(日) 10:00AM~12:30PM**
元、本物の極道から、キリストの驚くべき救いと愛の道を極める人に変えられたすばらしい証しを聞かせていただきます。
- **子どもクリスマス会 12/7(日) 2:00PM~3:30PM**
対象：幼稚園児から小中学生、クリスマス降誕人形劇、クリスマスのお話、ゲーム、プレゼント！
- **クリスマスの夕べ 12/21(日) 5:00PM~7:00PM**
ゴスペルクワイア、クリスマス降誕劇、クリスマスメッセージ等。

☆☆以上、すべて、詳しくは教会のウェブページにチラシ、案内がありますので、そちらをご参照ください。

《教会住所》グリニッチ福音キリスト教会 (Japanese Gospel Church of Greenwich)、牧師 立石尚志
c/o St. Paul Ev. Lutheran Church, 286 Delavan Ave. Greenwich, CT 06830 website: www.jgclmi.com
《問い合わせ》教会 TEL/FAX(203) 531-6450、牧師宅 TEL/FAX (203) 531-1609, e-mail: church@jgclmi.com

